

# なかやま

## 議会だより

No.32

February 2025

発行日：令和7年2月1日

発行：中山町議会



### 夢やアイデアいっぱいの合同座談会



#### 目次

【特集】まち・ひと・ぎかい合同座談会…………… 2～5

新年のごあいさつ…………… 6

12月 令和6年度一般会計補正予算…………… 7

町政を問う 一般質問…………… 10～15

議会活動報告…………… 16～22

【特集】議会だよりアンケート…………… 23

# まち・ひと・ぎかい合同座談会

令和6年  
12月19日  
開催

中山町が大好きで、町内で活躍する元気な若者にインタビューを行っている「まち・ひとインタビュー」。今回は、今まで掲載させていただいた方々と議会広報常任委員で、合同座談会を行いました。参加者の自己紹介と活動の内容は、下段に掲載しています。

### 若者が集う町を目指して

**渡邊副委員長** 皆さんに自己紹介とご自身の活動を伺いましたが、お話を聞いて共感したことや新たなアイデア、連携してできそうなこと、可能性を感じたことなどがあれば教えてください。

**穂積勇人さん** 自称中山マニアと公言している私は、町外や県外の皆さんの中山町のイメージがまだはつきりしていないのではないかなと思います。しかし、それは逆

にこれから自由に新しいアピールができるということではないかと可能性を感じています。

**浦山 文さん** いろんなスポーツをテーマにした大きなイベントを開催したいですね。地域で仲間をつくるきっかけにもなります。私も数年の間に、同じ趣味を持つ人たちと出会い、イベントを通じて友だちになれました。

**齊藤真二さん** コーヒーかすを菌床にしたキノコ栽培をしたことがあります。地熱を利用して国産の

コーヒー豆を生産しているところもあるので、農家の小松さんに栽培してほしいです。

**小松信治さん** コーヒー豆も作りたいなあと思っています。それから、里芋のお菓子も、ユキヒラさんとコラボしてやってみたいです。

**伊藤一之さん** 県内産の里芋は通年では食べられないので、私としてはシーズン以外にも、レトルト北前も煮に県内産の里芋が使えればいいのになと思っています。

### 町にお祭りを!!

**村山委員長** ここまでの話にも出ましたが、こんなお祭りがあったらいいなというアイデアはありますか？

**大津幸恵さん** 町内を周遊しながら、気軽にアートなどを楽しめるようなお祭りがあれば、コンパクトな町を活かした、中山町ならではのお祭りができそうですね。

**東海林大睦さん** 地域の伝統芸能のすばらしさを、その地区の人しか知らないのもつたいないので、1か所に集まって披露できればいいなと思います。また、園や学校とコラボしながら、子どもたちも参加できるといいですね。

**春風亭昇りんさん** 伝統芸能祭にすごく興味があって、それぞれの地区にお祭りや踊りがあることを知ってもらう機会としていいなと思います。幅広い世代が参加できて発表し合えると楽しそうですね。

**高橋圭哉さん** 町に夏祭りが無い



**鎌上議長** 子どもたちは夜出かけるのが大好き。中山町と言えばこれ!という象徴的なイベントがあれば、子どもたちが『これが私たちの町の誇り』と思えるきっかけになると思います。

ことに驚きました。普段は出かけられない夜に、ただ友だちと集まって騒ぐのが楽しかったというのが、私の祭りの記憶です。

**笹木美左貴さん** 「やってみっべ活動支援補助金」を活用し、昨年度

(次ページに続く)

## ご参加いただいた方々①



**第18号掲載**  
いとう かずゆき  
**伊藤 一之さん**  
元地域おこし協力隊  
「みらくるラジオなかやま」創設者

FURUSATOの未来 代表として、北前も煮の商品販売を、今後、町や観光協会と連携して、さらに発展させたいです。



**第9号掲載**  
ほづみ はやと  
**穂積 勇人さん**  
穂積繊維工業株式会社  
社長

ハンドタフティングによる伝統絨毯づくりとサッカーをこよなく愛し、地域とのづくりの魅力を発信しています。



**第8号掲載**  
さいとう しんじ  
**齊藤 真二さん**  
YUKIHIRA COFFEE  
オーナー

コーヒー店経営を軸に活動し、地域の魅力を発信。新店舗の開設に向けて挑戦中です。



**第7号掲載**  
さいとう えみ  
**西塔 恵美さん**  
NPO法人中山総合  
スポーツクラブ

体育館運営を通じて地域の健康づくりを支援し、幅広い世代が楽しめる場を提供しています。



**第7号掲載**  
うらやま あや  
**浦山 文さん**  
NPO法人中山総合  
スポーツクラブ

スポーツイベント運営に携わり、将来は中山町にフィットネスジムを作るのが夢です。



**齊藤真二さん** 実際の議員の仕事量がどの程度あるのかがよくわかりません。例えばオンラインで会議に出席できるなど、仕事と議員活動の両立がどのような形だとできそうなのかわかれば、自分が今やっている仕事とのバランスを具体的に考えられるのではないかと



▼「中山町のお祭りが少ない」という現状を憂う声が多く寄せられました。また、町内で行われている伝統芸能の踊りを活かしたり、様々な団体がつながって一緒にお祭りができれば、それが地域活性化の力になるのではという議論が展開されました。

はワークショップを3回実施し、子ども祭りも2回開催しました。今年度は芸文祭の中で1回だけの実施でしたが、幅広い年齢の方に来てもらい交流できました。子どもたちが大人になったときに、中山町で過ごして楽しかったという記憶が残っていくようなお祭りができたらいいと思います。

議員の仕事の中身がわからない

**渡邊副委員長** ここからは、少し議会についての質問をさせていただきます。議員のなり手不足が全国的に課題となつていますが、どのような環境なら、議員になりたいと思いますか。また、どのような部分の問題だと思いますか。ご意見をいただきたいです。

**東海林大陸さん** 例えば、兼業のサラリーマンが、議会だから休みをくださいと言うわけにもいれないし、自分の生活を守ることで精いっぱいだと思います。専業でも十分な報酬があつて、議会活動に専念できる環境だといっているのではないのでしょうか。

**大津幸恵さん** 議員になるということ以前に、そもそも、議会が自分に関わりがあると、それほど思っていない人が多いと思ってしまう。議会でのようなことをしているのかを広めたり、学校の社会科見学で議会を体験してみるとか、マスコミが目玉するような面

と思います。また、議員になれば何が成せるのかわかるようではないところもあると思います。

**穂積勇人さん** 私は選挙の立会人をしてるので、18歳になった方が家族みんなで投票に来る様子や、ちゃんと投票しに来ている方々の様子を見て、毎回とてもなく感動しています。この町民の一票一票の思いを、議員として私はそこまで背負えないと感じています。

**春風亭昇りんさん** 議員のなり手が少ないのはどうしてだろうと、中山町の議員さんが考えているということも今日初めて知りました。今まで知らなかった部分を知ることができてよかったです。

▼議員のなり手不足の原因は、兼業の難しさや議会活動が知られていないことではないかとの意見が出ました。オンライン配信や子どもたちに議会を体験してもらうなど、議会をもっと身近で参加しやすい場にする工夫が求められています。



白い取り組みを行ったりして、まずは議会に足を運んでもらう仕掛けが必要ではないでしょうか。

**西塔恵美さん** 議会の傍聴には、どうしても仕事で行けないことがあるので、ネットで配信してもらえると見られるかなと思います。

**高橋圭哉さん** 議会をライブ配信するのもいいですが、議会が行われていることが人目につくように、役場の窓口に議会の様子を映したモニターを置いておくのはどうでしょうか。



座談会の前半では、参加者の皆さんの夢やまちづくりへの思いを話していただきました。パインアップ栽培、ドーナツ屋、フィットネスジム、夏祭り、いも煮の落語など多彩なアイデアが交わり、**からまがつて**、新しい中山町の未来が見えてきたようです。

後半は、議会について話し合っていました。その閉鎖性を指摘する鋭い意見もあり、町民目線に立った議会活動が必要であることを再認識しました。最後は「はい、チーズ」ならぬ「はい、イモニー」のかけ声で記念撮影！笑顔あふれる座談会となりました。皆さん、ありがとうございました。

ご参加いただいた方々②



**第28号掲載**  
ささき みさき  
**笹木 美左貴さん**  
あっとほーむまめ太代表

子どもたちと一緒にお祭りを企画運営し、地域文化を育む恒例行事の実現を目指しています。



**第27号掲載**  
とうかいりん まさちか  
**東海林 大陸さん**  
株式会社ネクサス不動産代表取締役

不動産業を通じて空き家問題に挑戦し、町の活性化と住民の暮らしを支えています。



**第25号掲載**  
おおつ さちえ  
**大津 幸恵さん**  
フリーパーソナリティ

「みらくるラジオなかやま」での伝統行事の記録や発信を通じ、文化の継承と住民交流の機会づくりに取り組んでいます。



**第23号掲載**  
こまつ しんじ  
**小松 信治さん**  
里芋農家(栽培面積1.5ha) なかやまファーム 代表

里芋のブランド化や新規作物栽培を進め、地域農業と新たな可能性の発展に挑戦中です。



**第22号掲載**  
たかはし けいや  
**高橋 圭哉さん**  
中山町地域おこし協力隊

まる〇っとや中央公民館でのスマホ教室を通じ、住民をサポート。デジタル化支援で地域の暮らしを支えています。



**第21号掲載**  
しゅんぶうてい しゅう  
**春風亭 昇りんさん**  
落語家・なかやま観光大使

落語会やリング畑落語ツアーなどで、中山町の魅力を発信。町内外で交流を深め、今後その規模を広げていきたいです。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます



中山町議会議長

鎌上

徹

町民の皆さまには、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。また、日頃から議会活動に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。昨年は町制施行70周年という大きな節目を迎えました。町民の皆さまのご理解とご協力、そして先人の努力の積み重ねがあったからこそ、この記念すべき年を迎えることができたと感じています。改めて皆さまに深く感謝申し上げます。

さて、昨年は元日から能登半島地震が発生し、いまだ多くの方々が避難生活を送られています。また、7月および9月には能登半島地震の被災地や県内を含む各地で大雨による被害が発生しました。さらに、夏場に高温が続いたことなどから、農産物の生産に大きな影響を受けるなど、自然災害や気候変動の影響を受けた年でありました。

日々の暮らしにおいては、物価高騰の波が留まることなく押し寄せ、電気等の光熱水費やガソリン・灯油代、食料品や日用品の多くが値上げされ、家計への負担感が日々増大していると、多くの方が感じていらっしゃるのではないのでしょうか。

当町議会は、これら山積する課題の解決に向けて、町執行部と互いに知恵を出し合い、町の発展のため議論を重ねてまいります。また、新たに設置した議会活性化特別委員会では、より身近で開かれた議会運営を目指して活動を進め、町民の皆さまの負担に配慮されるよう誠心誠意努めてまいります。

結びに、町民の皆さまにおかれましては、本年が健やかで幸多い一年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

## 臨時会が開催されました

10月24日に臨時会を開催し、令和6年度一般会計補正予算の専決処分を承認するとともに、2件の契約を可決しました。専決処分の内容は、10月9日に衆議院が解散され、衆議院議員総選挙に係る費用が急きょ必要になったことから予算の増額補正を行ったもので、この臨時会で承認しました。

### その議案に私は賛成、私は反対

#### 10月臨時会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊕欠席 ⊖退席

議案番号	議案名と主要内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議長
		佐東幸治	須貝勝司	田宮昌幸	冨田慎二	斎藤眞一	鈴木徹雄	渡辺博文	村山隆	渡邊史	鎌上徹
議第56号	令和6年度中山町一般会計補正予算(第6号)についての専決処分の承認について 歳入歳出予算それぞれ781万5000円増額し、総額を58億8771万4000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
57号	中山町保健福祉センター受変電設備新設及び空調設備等改修工事請負契約の一部変更について 電気工事の内容の変更、機械設備の撤去補修や更新等を追加するものであり、条例に基づき、議会の議決が必要な契約のため提案があったもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
58号	中山町立なかやま保育園空調設備改修工事(2期工事)請負契約の締結について エアコン設置及び受変電設備改修等を行うものであり、条例に基づき、議会の議決が必要な契約のため提案があったもの	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

\*注：議長は採決に加わりません。

# 12月定例会が開催されました

12月定例会が、12月4日から6日までの会期で開催されました。

提出された議案は、一般会計・各特別会計・公営企業会計補正予算、指定管理者の指定、条例の制定などの計11件で、すべて原案のとおり可決されました。(⇒関連記事P8)

## 令和6年度一般会計補正予算(第7号)

12月定例会で、第7回目の予算の見直しを行いました。その結果、歳入歳出予算にそれぞれ1億4807万8000円を増額し、総額で60億3579万2000円とするものです。見直しの主な内容は次のとおりです。

トピックス

### ① 全国に中山町の魅力発信 歳入増額 7134万5000円

#### ふるさと納税推進事業

当初予算は3億円でしたが、全国からの寄附額が好調に推移していることから、寄附見込額を7134万5000円増額し、3億7134万5000円にするものです。

トピックス

### ② 交通安全への意識の高まりに支援 増額 156万円

#### 交通安全対策事業

- 運転免許を自主返納された方に、町営バス回数券(20冊)または山形県タクシー共通乗車券(2万円分)のいずれかを交付していますが、運転免許の自主返納者が増加しているため、90万円(45件分)を増額するものです。
- 交通安全施設等工事費として、各地区から要望のあったカーブミラーの更新等に対し、現場確認を行った上で、3か所分の工事費66万円を増額するものです。



老朽化のため更新の要望があったカーブミラー(金沢地区)

トピックス

### ③ 地域の自主的な取り組みが活発化 増額 190万円

#### まちづくり推進事業費補助金

まちづくり推進事業補助金は、地域の環境整備や交流活動の促進等を目的とした取り組みを支援するもので、昨年度と比較して申請が増加しており、今後も対象となる事業を実施する地区や団体が見込まれることから増額するものです。



地域ぐるみで防災訓練(文新田地区)

# その議案に私は賛成、私は反対

## 12月定例会 採決状況

○賛成 ●反対 ⊕欠席 ⊖退席

議案番号	議案名と主な内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	議
		佐東幸治	須貝勝司	田宮昌幸	夢田慎二	斎藤眞一	鈴木徹雄	渡辺博文	村山隆	渡邊史	鎌上徹
議第59号	令和6年度中山町一般会計補正予算(第7号)について 歳入歳出予算それぞれ1億4807万8000円増額し、総額を60億3579万2000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
60号	令和6年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ31万3000円減額し、総額を12億3185万1000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
61号	令和6年度中山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれ101万3000円増額し、総額を1億8650万6000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
62号	令和6年度中山町介護保険特別会計補正予算(第3号)について 歳入歳出予算それぞれは変更せず、予算の組み替えを行うため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
63号	中山町町民休養交流センター「ひまわり温泉ゆ・ら・ら」の 指定管理者の指定について 指定団体：株式会社中山町振興公社 指定期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日	●	○	○	○	○	○	○	○	○	*
64号	令和6年度中山町一般会計補正予算(第8号)について 歳入歳出予算それぞれ4337万円増額し、総額を60億7916万2000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
65号	令和6年度中山町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)について 歳入歳出予算それぞれ132万4000円増額し、総額を12億3317万5000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
66号	令和6年度中山町介護保険特別会計補正予算(第4号)について 歳入歳出予算それぞれ202万8000円増額し、総額を14億2328万5000円とする	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
67号	令和6年度中山町下水道事業会計補正予算(第2号)について 公共下水道事業収益および公共下水道事業費用をそれぞれ 126万8000円増額する	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
68号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の 制定について 一般職の職員の給料月額等の改定を行うため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*
69号	特別職に属する者の給与に関する条例の一部を改正する条例の 制定について 議会の議員および町長等に対して支給する期末手当の支給割合を 改定するため	○	○	○	○	○	○	○	○	○	*

\*注：議長は採決に加わりません。

## 令和6年 中山町議会12月定例会日程表

期日	会議	備考
12月4日(水)	本会議 (全員協議会)	一般質問
12月5日(木)	休会	議案調査
12月6日(金)	本会議 (全員協議会) (議会活性化特別委員会) (治山・治水特別委員会)	議第59号～議第69号 各件毎提案理由の説明、 質疑、討論、採決

## 討論

議第63号 中山町町民  
休養交流センター「ひ  
まわり温泉ゆ・ら・ら」  
の指定管理者の指定に  
ついて

### 反対討論

佐東 幸治 議員

令和6年度当初予算  
のひまわり温泉整備基  
金について、一般会計  
への繰り出しと基金へ  
の積立を勘案すると、  
残高は1708万円の  
見込みとなっておりま  
す。今後、施設維持管  
理にも経費がかかり、  
基金が底をついた状態  
で、令和12年度、13年  
度に計画されている、  
公衆浴場、合宿研修棟  
の大規模改修を迎えれ  
ば、一般会計から多額  
の歳出が見込まれま  
す。昨年も案に反対し  
ましたが、執行部とし  
てできることはすべて

行い、それでもという  
なら私も納得します  
が、これまでさまざま  
な提案がなされたにも  
関わらず改善されてい  
ないことに対し、納得  
できるものではありません。  
私は株式会社中山町  
振興公社がだめだとい  
うわけではありませ  
ん。論点を明確にする  
ため、次の3点につい  
て要求します。1点目  
は条例で定められてい  
る料金の改正、2点目  
は金銭の流れを明確化  
するための業務委託内  
容の見直し、3点目は  
長期的な経営計画作成  
を同公社に指示し、提  
出してもらうというこ  
とです。以上の関連理  
由により、原案に反対  
します。

### 賛成討論

夢田 慎二 議員

中山町振興公社に

は、これまでも指定管  
理者として町のイベン  
トなどに協力をいただ  
いています。また、現  
在、施設設備不良の際  
には、工夫しながら営  
業を継続しています。  
さらに、旅行予約サイ  
トの口コミに対しても  
すぐに返信し、より快  
適なサービスに向けて  
日々努力しており、指  
定管理者としてふさわ  
しい会社だと思ってい  
ます。原案に賛成しま  
す。

### 賛成討論

田宮 昌幸 議員

今年の中間報告など  
を見ると経営状況が改  
善しつつあるため、も  
う少し様子を見る必要  
があると思います。ま  
た、今回否決となった  
場合、新しい指定管理  
者を探すとすると経営  
が混乱することからも、  
原案に賛成します。

## 請願と陳情(要望) 12月定例会に陳情2件、要望書3件が提出されました。

**陳情** 臓器移植に関わる不正取引、非人道性が疑われる国への渡航移植等を  
防止するための法整備等を求める意見書提出の陳情

受理年月日：令和6年10月31日

**陳情** 国民の命を守るために早急に日米地位協定の抜本的改定を求める意見  
書の提出についての陳情

受理年月日：令和6年11月15日

**要望** 令和7年度理科教育設備整備費等補助金予算計上についてのお願い

受理年月日：令和6年9月9日

**要望** 学校教材備品の計画的な整備推進についてのお願い

受理年月日：令和6年10月24日

**要望** 令和6年度建設振興策に関する要望書

受理年月日：令和6年11月11日

※陳情(要望)については、議員への配付のみとしています。

# 一般質問

ここが聞きたい！

# 町政を問う

一般質問とは、議員が町の事務・事業の執行状況や将来に対する考え方などの報告や説明を町長などに求め、町が町民のために適切な町政運営を進めているかを議員が問いただすものです。

質問方法は、効率的な議会運営を目的に、質問する議員があらかじめ議長に質問の趣旨などを知らせる「通告制」を採用し、議員はその内容に沿って質問します。中山町議会では、質問時間は答弁と合わせて40分以内としています。

## 5人の議員が一般質問

12月定例会では、5人の議員が6件の一般質問を行い、将来の町政について活発な議論を展開しました。

### 質問者(発言順)

#### 渡辺 博文 議員 (11ページ)

- “キャッシュレス決済ポイント還元事業”について
- 終活について

#### 佐東 幸治 議員 (12ページ)

- 带状疱疹ワクチン接種の補助制度を

#### 畠田 慎二 議員 (13ページ)

- 町の知名度向上、その目的を明確に

#### 渡邊 史 議員 (14ページ)

- 大人も学びながら、子どもたちが育つ環境に多様な選択肢を

#### 村山 隆 議員 (15ページ)

- 町民参加型のまちづくりへ向けて



## “キャッシュレス決済ポイント還元事業”について



わたなべ ひろふみ 渡辺 博文 議員

**問** 7・8月に実施された「キャッシュレス決済ポイント還元事業」について、初回にしては反響が大きく、おおむね成功に終わったと感じている。しかし、私自身、多くの意見や苦情を耳にしており、町にも同様の声が届いているかと思う。今回の結果を踏まえ、次の事項についてどう考え、今後どのような対策を講じる予定か。

①実施時期について  
②実施期間について  
③還元率について  
④1回当たり、および通算の上限について

**答** 7・8月に実施された「キャッシュレス決済ポイント還元事業」について、初回にしては反響が大きく、おおむね成功に終わったと感じている。しかし、私自身、多くの意見や苦情を耳にしており、町にも同様の声が届いているかと思う。今回の結果を踏まえ、次の事項についてどう考え、今後どのような対策を講じる予定か。

⑤対象店舗(参加店舗)について  
⑥約1・8億円の経済効果について  
⑦町民に対しての周知不足について  
⑧その他クレーム・要望等について

**町長** 実施期間である今年7月1日から8月6日までの37日間において、決済額としては1億751万8000円となった。さまざまな課題はあったものの、盛況のうちに終了し、本事業の可能性の大きさを感じた。①の「実施時期について」は、多くの事業者の利益となるような時期の設定ができればと考えている。②③④は、今回の試算と実績データの差異を考慮して改めて試算し直し、今回よりも還元率と上限額を抑える方向での実施を探りたいと考えている。



キャンペーンを周知するのぼり旗

る。⑤の「対象店舗について」は、大手店舗などを含めるかは、次回実施をすることがあれば考慮したいと考えている。⑥の「経済効果について」は、7割以上が町外からの利用で、町商工振興事業において短期間でこれほどの経済効果を上げた事業は今までになく、非常に高い効果があったものと捉えている。ただし、同額の予算で仮に還元率を20%に抑えて実施した場合、理論上は1・5倍の経済効果が得られるという考え方もある。今後の事業実施にあたっては、さらに費用対効果

を十分に考慮して、限られた予算を有効に活用できる設定となるよう努めていく。⑦の「町民に対しての周知不足について」は、4月から、お知らせ・ホームページ・SNSのぼり旗などで広報活動を実施した。

**私の思い** 事業の目的が町民に伝わっていないと感じている。私としては最大の目的は中山町の内需拡大のための、(町外からの)外貨獲得にあると思う。目的をていねいに説明しなければ町民からの理解は得られないのでは。

### 終活について

**問** 以前、共同墓地の設置について質問したところ、考えはないとの答弁であった。あれから10年以上経過し、世相は大きく変化した。そろそろ共同埋葬地や共同納骨堂等を考える時期かと思うがどうか。

**町長** 町としては、共同埋葬地や共同納骨堂等の共同墓地造成に取り組む考えはない。

**私の思い** 世相が大きく変わり、これから無宗教の家庭がどんどん増えていき、共同埋葬地や共同納骨堂等の共同墓地造成が必要になると思われる。世相の変化をみて、また質問したい。



佐東 幸治 議員

# 帯状疱疹ワクチン接種の補助制度を

**問** 帯状疱疹とは、水痘（すいとん）・帯状疱疹ウイルスによって引き起こされる感染症である。ただし、初めて水痘・帯状疱疹ウイルスに感染したときは、水痘（水ぼうそう）として発症する。多くの場合、水痘は子どもの頃に発症し1週間程度で治るが、治癒後もウイルスは体内の神経節に潜伏している。その後、加齢やストレス、過労などが原因となつてウイルスに対する免疫力が低下すると、神経節に潜伏していたウ

イルスが再活性化し、神経を伝わり皮膚に到達して、痛みを伴う赤い発疹を生じる。これが帯状疱疹である。日本では、帯状疱疹の予防接種として「生ワクチン」と「不活化ワクチン」の2種類が使われている。帯状疱疹の予防接種を受けるときは、接種対象者や、接種する回数、接種にかかる費用などの情報を確認した上で、自身の状況に合うワクチンを選ぶことになる。費用は「生ワクチン」が、7000円〜1万円程度で、「不活化ワクチン」は、4万円〜6万円程度（2回接種の合計）で、各種の健康保険組合等でも助成制度が進められており、また、独自の制度を導入している自治体も増えている。山形県でも令和6年9月1日現在で、村山

市をはじめ、7つの自治体が助成制度を導入している。当町でも、帯状疱疹ワクチン接種の費用に対し、補助制度を導入する考えはあるのか。

**町長** 議員が言われるとおり、すでにワクチン接種に助成している自治体もある。当町においても費用を助成していきたいと考えている。

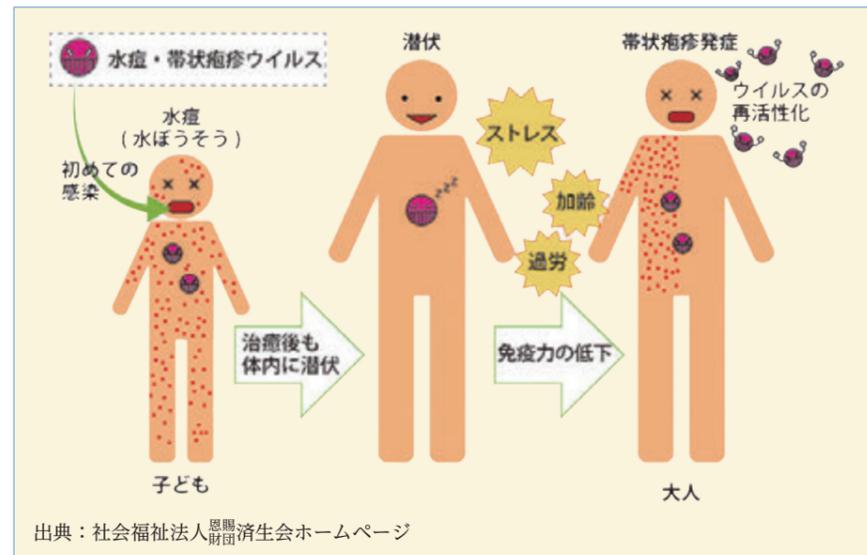
**問** 導入するとなれば、いつ行うのか。

**町長** 現在、国では帯状疱疹ワクチン接種の定期接種化に向けて、接種の目的、対象年齢、使用するワクチンについて検討しており、その定期接種化にあわせて、町も補助制度を導入したいと考えている。

**問** 一部の健康保険組合や国保組合、共済組合で費用補助が行われているが、重複しても町独自の助成を利用できる制度とするのか。

**健康福祉課長** 皆さんが利用しやすい制度にしていきたい。

**私の思い** 高額な帯状疱疹ワクチンの予防接種の費用に対し、より良い補助制度の導入に期待する。



免疫力低下で再活性化する帯状疱疹

出典：社会福祉法人 岩手県済生会ホームページ



た だ しん じ 田 慎 二 議員

# 町の知名度向上、その目的を明確に

**問** 10月に開催された「元祖 全国 芋煮会 in 中山」では、多くの方が来場し、大いに賑わいを見せたが、イベント後も町の魅力を発信し続ける仕組みについて、どのように考えているのか。

**町長** 「芋煮会発祥の地」を町の確固たる財産として位置づけ、「元祖 全国 芋煮会 in 中山」を毎年ブラッシュアップしながら開催することにより、芋煮会を通じて、中山町内外の方々の町への愛着や好感度の向上を図

ること、交流人口や関係人口の増加を目指していく考えである。現時点では、少なくとも町誕生100周年の節目まで、30年以上は続けていく覚悟で取り組んでいく。

**問** イベントが「人を集める」だけで終わりが、具体的な成果につなげていないのではないかと感じていないか。

**町長** 今回のイベントが人を集めるだけで終わっているとの指摘については、イベント終了後も「中山町の芋煮会」の話題が各種マスコミに取り上げられ、山町としての認知度が

高まったという大きな成果があったものと考えている。そして、観光イベントや特産品の販売等による集客等の効果を一過性のものとせず、それらを契機に観光誘客や交流・関係人口を創出し、移住定住につなげていくことなど、町外の活力を継続的に中山町に取り込んでいくことが必要不可欠と考えている。

**問** 中山町を知らない方々に対して、町の魅力を効果的に伝えるプロモーションをさらに推進する必要があると考える。町として、今後、外部とコラボレーションをしていくような計画はあるのか。

**町長** 11月に新たな取



中山町産りんごが大好評 (日体大)

り組みとして『日体フェスティバル連携地域物産展』への出店や千代田区のシェアオフィスにおいて1か月間、特産品の販売や特産品を使用したランチメニュー等の提供、町関係者や生産者が町の魅力を伝える交流会を開催した。この取り組みでは、認知度向上はもとより、継続的な関係性をつくることを念頭に置きながら、積極的に情報発信を行った。

**問** 中山町への注目度が着実に高まっている。この注目を一時的なものにとどめず、具体的な成果につなげるためには、明確なビジョンをもって進める必要があると思うが、町として、これらの取り組みをどのように結び付けていくのか。

**町長** 来年度実施予定の第6次中山町総合発展計画の中期見直しでは、これまでの取り組み状況や課題・成果を検証するとともに、町を取り巻く情勢や町の強み・弱みを見つめ直し、民間事業者等のノウハウや知見も活かしながら、町が目指す方向性、その実現のための施策や評価指標等について考えていきたいと思っている。

**私の思い** 知名度向上の先の具体的な成果を明確にし、戦略的に取り組んでほしい。



わたなべ 史 議員

# 大人も学びながら、子どもたちが育つ環境に多様な選択肢を

**問** 少子高齢化が進む中、外で働く支援策が進む一方、もう少し在宅育児を選びたいという声も聞く。この現状について、①在宅育児支援の現状、②家庭保育支援手当や現金給付の施策についての見解、③保育施設利用増加による親子の交流機会の減少について、どう考え支援しているか。

**町長** ①町では、ファミリー・サポート・センター、産後ケア、一時預かり、子育て支援センター事業を実施している。また、令和8



親にとって学びの場でもある、フリー参観

③保育施設利用の増加による親子の交流機会の減少については、町としても課題であると認識している。このため、町立保育園では送迎時の会話や連絡帳を通じて情報を共有

**問** 在宅育児支援としては、実質、一時保育事業のみであるが、保育料軽減や保育施設運営にかかる公費支出を考えれば、在宅育児にも公平な支援が求められる。家庭保育支援手当として月額5000円から3万円を支給する自治体も存在する。町でも具体的な検討を進めるべきではないのか。

**健康福祉課長** 在宅育児を選ぶ家庭への支援も重要であると考えている。先行事例を参考に、現金給付やストレス軽減

**問** 現代社会では、大人自身が子育てや教育について学ぶことが必要だと考える。第7次県教育振興計画素案にも『家庭教育支援の充実』が掲げられているが、町として具体的にどのような取り組みを進めるのか。

**町長** 学校や地域との連携を深め、子どもたちの遊びや学びの場を整備している。また、大人の学びについては、教育講演会の開催などを進める。家庭、地域、学校が協働して、子どもたちが健康やかに育てることが重要である。

**教育長** 学校主催の教育講演会はこれまででも実施してきたが、コロナ禍で中断していた。今後、保護者が気軽に参加できる学びの場を再開し、家庭教育や地域全体の教育力を高める取り組みを進めていく。

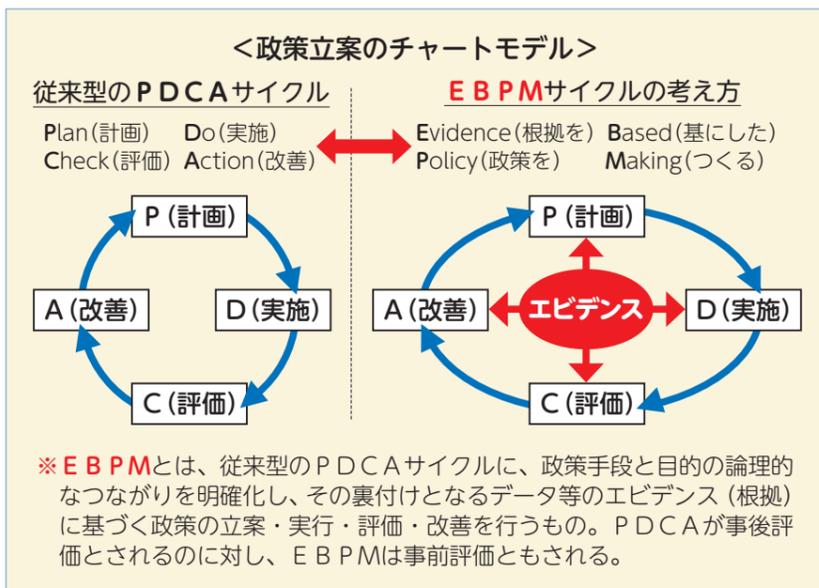
**問** 親が学校の教育内容を理解し、学び直す機会も必要ではないか。親も成長しながら地域全体で子どもを支える環境をつくること、未来の社会の基盤になるのではないのか。

**町長** 女性の生き方は社会情勢によって左右されやすいが、「どんな生き方も」応援されたいと感じられる施策を望む。また、大人の学びを通じて、親や地域が子どもを支えるための新たな取り組みが始まることを期待する。

# 町民参加型のまちづくりへ向けて

**問** 中山町誕生70周年記念事業の概要と取り組みの経過は。

**町長** 「記念式典」、「元祖」全国「芋煮会in中山2024」、「ドリーム・ベースボール」について、それぞれプロジェクトチームを組織し、昨年12月より準備を進めてきた。また、各事業の進捗管理を行う連絡調整会議や意思決定を行う実行委員会を組織し、事業を行ってきた。企画・立案に関しても、民間事業者の知見を活かしながら、事業の目



**問** 町民参加型のイベントはどうだったか。

**総合政策課長** 町では「中山町誕生70周年記念町民参加事業補助金」(1事業当たり5万円)を創設し、11月末現在で37件の取り組みに対して支援を行ってきた。

**問** 私は、この事業は大成功であったと思う。その要因は70周年記念というタイムリーに加え、申し込みや審査が簡素化された事業で、「使いやすい」補助金であったからだと思います。この町民参加の意識の向上こそが「70周年」の成果であると私は考える。

**私の思い** 十分な準備をしたというが、運営の一部に

混乱や事前の説明不足、周知の不徹底などがあったように思う。「PDCA(事後評価)型」でなく、「EBPM(事前評価)型」の政策事業立案への転換が必要であると提言したい。

**総合政策課長** 10年前に創設した「やってみっぺ活動支援補助金」を見直し、既存の補助金



上町通りでの新しいイベント・マルシェ(11月10日)



むらやま 隆 議員

# 議会活動報告

## 将来の子どもたちへの支援策を探る 大型行政視察研修報告

10月16日から18日にかけて、鳥取県の大山町、島根県の飯南町と一般社団法人 地域商社 ビレッジプライド 邑南の3か所で行政視察研修を行いました。内容は次のとおりです。

### 研修内容

#### 鳥取県大山町

##### 1 人口減少対策と子育て支援事業について

大山町の人口は、平成16年に1万9,591人でしたが、令和5年では1万5,223人となり、年間約200人のペースで減少しています。このため、人口動態の推移を分析し、明確な目標を設定した上で、町の魅力向上や子育て支援策に取り組んでいました。

まず、人口減少対策として、移住・定住促進のために、住宅新築等・子育て支援住宅、新規就農者促進、空き施設活用などを支援しており、特に3親等以内の親族に対する農業研修（最長2年間）を支援する親元就農者促進支援事業など、画期的な事業を行っていました。

また、子育て支援については、妊娠・出産から高校卒業まで、切れ目のない支援が充実しており、さらに、その支援制度がひと目でわかるパンフレットを作成し、利用者の利便性を高めていました。その結果、令和5年は鳥取県内で唯一、出生数の増加達成という実績を残しているとのことでした。

##### 2 英語教育について

###### (1) 保・小・中における英語教育の取り組み

町内各小中学校に1名ずつALTが常駐し、日常で英語に触れる機会を増やし、豊かな表現力、英語力を育むとともに、多様な文化の理解促進を図っていました。

###### (2) 海外都市交流と短期留学プログラム支援

アメリカ合衆国「テメキュラ市」や、大韓民国「襄陽郡」と中学生交流を実施しているほか、ハワイ短期留学プログラムへの参加にかかる経費の一部を補助していました。

#### 島根県飯南町

##### 1 子育て支援について

(1) 支援金・補助金としては、結婚祝金5万円、出産祝金 第1子・第2子10万円、第3子以降50万円、第3子以降子育て世帯応援金児童1人10万円（5年間）、不妊治療にかかる医療費（上限30万円/年）と交通費（上限10万円/年）などの補助制度がありました。

(2) 物的支援では、子育て世帯日常生活用具給付として、満2歳に達するまでの日用品配達と、町産材を活用した木工品贈呈（幼児用椅子、積み木、フォトフレーム）を行っていました。

(3) 支援策では、保育料・副食費（おかず・おやつ）は無償、18歳までの子ども医療費を全額助成していました。

(4) その他として、子育て相談の充実、子どもの広場の整備、病児・病後児保育施設の整備などの支援策が進められていました。

## 2 定住促進事業について

- (1) セミオーダー住宅として、2LDK家賃4万円/月の住宅を3タイプから選択可能で、25年賃貸後、土地建物の所有権が譲渡されるもので、入居要件は40歳以下で、夫婦または中学生以下の子どもがいる世帯となっているほか、25年の居住を確約することなどがありました。
- (2) 空き家・空き地・空き農地については、登録を行い、情報提供を行っていました。特に町外の方への納税通知書の配付時に空き家バンクなどを紹介していました。
- (3) 空き家に関わる補助金として、それぞれかかる費用に対し、空き家購入補助金（補助率2分の1：上限50万円）、住宅整備助成金（上限50万円）、空き家改修助成金（補助率2分の1：上限50万円）、空き家片付け助成金（補助率2分の1：上限10万円）、民泊開業助成金（補助率2分の1：上限50万円）などが用意されていました。
- (4) 田舎暮らしが体験できるように、家電・寝具もそろっている空き家を利用して、最長1か月まで居住可能な体験プログラムもありました。

## 3 保・小・中・高一貫教育について

どの地域でも少子化は避けられない課題であり、飯南町においても令和2年から令和11年の10年間で小学生が206人から151人、中学生が104人から75人となり、合わせて84人の減少になると見込まれます。統廃合と一貫教育の選択においては、その地域の教育環境を考えながら進めていました。

### 地域商社 ビレッジプライド 邑南

#### ビレッジプライド 邑南の取り組み

この団体は、元邑南町職員が立ち上げた一般社団法人で、地域商社として邑南町を元気にし、さらに日本中の田舎を元気にする活動を行っています。その地域の資源を活用し、住民がその地域で雇用される仕組みを事業化することを理念としています。主な取り組みは以下のとおりです。

- (1) ふるさと納税事業としては、邑南町の委託を受け、ふるさと納税の返礼品発注と返礼品開発を行っています。
- (2) オンラインショップ事業としては、石見和牛肉の販路を拡大し、特産品として広くPRすることで、邑南町ファンの増加を目指しています。
- (3) 地域おこし協力隊の育成としては、地域おこし協力隊を受け入れ、地域とのマッチングや起業家支援、地域プロジェクトマネージャーの養成などを行っています。
- (4) レストラン香夢里は、季節の野菜を使ったカジュアルイタリアンレストランで、地元産の牛乳や卵、米粉を使ったスイーツを開発しています。
- (5) 邑学館「矢上高校寮」では、島根県立矢上高等学校の町外出身の高校生86名の食事作りを中心に、寮の管理を行っています。
- (6) 店舗運営事業としては、車を運転しない高齢者などが、食料品や日用品などを生活圏内で調達できるよう、店舗の経営をするほか、移動販売も手掛けています。



地域おこしの話題がつかない代表者の講演

研修を行った自治体と地域商社では、どの事業も積極的に進めており、中には驚くほど大胆な事業もありました。当町でも財源を見つけ、さまざまな事業を前向きに進めていく決意を新たにしました。

# 議会活動報告

## 新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」とは

治山・治水特別委員会報告（委員長：佐東幸治）

12月6日、治山・治水特別委員会を開催し、村山総合支庁建設部河川砂防課の担当者から、山形県が令和7年1月に公表を予定している新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」についての説明を受けました。

近年、全国的に土砂災害警戒区域外での土砂災害が報告されていることから、国では令和2年8月に、高精度な地形情報を用いて「土砂災害が発生するおそれのある箇所」の抽出に努めるよう指針を変更しました。山形県ではこの指針に基づき、令和3年度から調査を始め、新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所の候補地」を抽出しました。なお、令和6年7月の豪雨では、県内で48か所の土砂災害が発生しましたが、そのうち4か所は土砂災害警戒区域外で発生しており、いずれも人家への被害が確認されています。

今回の公表は、新たに抽出された該当箇所の近隣住民の方々に土砂災害への「日頃の備え」をしていただくことと、新たな開発行為の抑制をすることを目的としています。今後、抽出された箇所の基礎調査を実施し、順次、土砂災害警戒区域等の指定を進めていくとのことです。

議会では、県に対し抽出箇所での速やかな基礎調査の実施を求めています。

## 町民の安心・安全を守る体制は万全か

中山町・山辺町両町議会議員協議会研修報告

12月13日、中山町・山辺町両町議会議員協議会で、両町が消防事務を委託している山形市消防本部の視察研修を行いました。内容は次のとおりです。

### 研修内容

1 初めに東消防署本署において、消防事務委託の内容や蔵王温泉出張所の概要などについて説明がありました。また、火災や災害に対する備えの拡充や人件費・光熱費の高騰などで、消防本部全体の経費が増加しており、各町の負担金も増加しているという説明がありました。（⇒なかやま議会だより第30号P13参照）

その後、緊急通報（119番通報）受信体制と、24時間健康・医療相談サービスの案内や、救急医療情報共有システムでタブレットを導入していることの説明を受けました。

2 次に西消防署本署へ移動し、体験コーナーで地震と煙体験を行い、その後、両町への出動体制などについて説明を受けました。

最後に、西消防署施設と緊急出動の順路を見学し、施設建物全体が免震構造となっていることなどの説明を受けました。



119番通報に迷ったときの24時間健康・医療相談サービスは、中山町民も利用できるため、このサービスを広く町民の皆さんに知っていただきたいと感じました。このサービスの周知と利用が進むことで、救急車が有効的に利用されることが、適正な事務費にもつながっていくと考えます。

## 冬季の特別公開を実施

柏倉家住宅保存・利活用特別委員会報告（委員長：多田慎二）

11月11日、柏倉家住宅保存・利活用特別委員会が開催され、12月補正予算に計上予定の経費について説明がありました。

初めに、旧柏倉家住宅等公開事業の歳出については、2月に予定している冬の特別公開（3日間）の経費として、ポスターやチラシの印刷代、公開業務委託料など31万5000円を増額するとの説明がありました。また、同事業の歳入については、旧柏倉家住宅の入館者数が好調で、有料入館者数は当初見込んでいた1,600人に対し、11月5日時点で1,329人であることから、冬の特別公開の実施も踏まえ、有料入館者数を200人増の1,800人と見込んで増額するとのことです。

次に、旧柏倉家住宅等修繕事業については、9月21日の大雨により旧柏倉家住宅前の最上堰から雨水が越水し、紅花畑の表土（約30㎡）が流出する被害を受けたため、復旧工事費として59万4000円を増額するとの説明がありました。

このことに関連して、委員からは、紅花畑を通る木道の被害状況についての質問がありました。現在のところ被害は確認されていませんが、これまで、ひなまつりなどのイベント前に点検を行い、必要に応じて修繕しているとの説明がありました。また、復旧だけでなく、今後の大雨に備えた抜本的な対策を考えていく必要性についての意見も出されました。



大雨により表土が流された紅花畑

## 皆さんの声を幅広くお聞きするために

議会活性化特別委員会報告（委員長：須貝勝司）

11月18日、議会活性化特別委員会の第1・第2小委員会がそれぞれ開催され、今後の調査・検討事項と、その進め方について協議しました。その後、12月6日に議会活性化特別委員会を開催し、両小委員会での協議結果についての報告を受けました。

まず、今後開催予定の「まち・ひと・ぎかい合同座談会」で取り扱う議会の活性化に関する質問内容等については、各小委員会での協議内容を踏まえ、第1・第2両小委員会委員長に一任することになりました。

次に、議員のなり手不足対策や議会活性化の取り組みを進めるにあたり、参考とする先進地視察について協議し、庄内町議会等を視察の候補先とすることが決まりました。

また、令和7年度に実施予定の町民アンケート調査については、無作為に抽出した町民へアンケートを送付する案が提案されました。しかし、返信率が低くなる可能性が懸念されるため、町内各種団体に所属する方を対象とする案や、各地区に対して一定数のアンケートを依頼する案など、多くの意見が出されました。そのため、他の議会の事例なども参考にしながら、効果的な調査方法について、引き続き検討していくことになりました。

最後に、今後の両小委員会の進め方については、山形県町村議会議長会の武田参与から助言を受けながら行っていく予定であることが報告されました。

# 議会活動報告

## 住民に愛される施設のあり方

### 山形広域環境事務組合議会報告

本年の当初日程に予定されていた山形広域環境事務組合議会臨時会は、議事案件がなかったため開催されませんでした。

#### 行政視察報告

11月5日から6日にかけて、山形広域環境事務組合議会の行政視察が行われました。

#### ●視察先①：クリーンプラザよこて（秋田県横手市）

「クリーンプラザよこて」は、熱回収施設（ごみ焼却）とリサイクルセンターを併用し、災害時には後方支援拠点として利用できる複合施設として建設され、平成28年から稼働しています。ストーカ式の焼却炉を採用しており、また、リサイクルを徹底し、資源の循環型社会を目指しています。

#### ●視察先②：つるおかエコファイア（山形県鶴岡市）

「つるおかエコファイア」は、公設民営（DBO方式）により整備された熱回収施設であり、ストーカ式焼却炉により1日160tの可燃物を処理しています。特筆すべきは、小学生などの目線に合わせた見学コースを設置しており、当組合も参考にすべき施設であると感じました。



トラックアートを駆使した臨場感のある見学コース（鶴岡市）

## 政治倫理とは？質問と質疑の違いとは？

### 山形県町村議会議員研修会報告

10月25日、令和6年度山形県町村議会議員研修会が、山形市のビッグウイングで行われました。内容は以下のとおりです。

#### ●講演「議会が守るべき政治倫理 ハラスメント防止と議会の 取り組み」

講師 弁護士 太田 雅幸氏

政治倫理の基本は、わいろ・収賄などの政治腐敗をしないことです。また、ハラスメントは、議員と職員、議員同士においても発生するリスクがあると説明がありました。

どちらも議員の「発言の影響力」がゆえの問題であることから、私たち議員は、住民の信頼を基盤とし、その地位や権利を乱用しないように努めなければならないと感じました。

#### ●講演「議事機関としての質問・質疑とは」

講師 一般社団法人 地方公共団体政策支援機構  
上席研究員 長内 紳悟氏

質問とは問題の共有と課題への昇華であり、質疑とは政策の事前・事後の検証で、これまでのPDCA（事後評価）だけでなく、EBPM（事前評価）（⇒関連記事P15）の考え方が重要であるとの指摘がありました。

また、根拠となる現状や課題分析可能なデータを用いて、総合計画や各種政策に十分に反映されているか検証してから、質疑・質問することが重要であるとのことでした。

議会の現状は意見発表会的な場となっており、効果的な話し合いがなされていない場合があります。問題を掘り下げ、地域の実情にあった政策のために、議会としての役割を果たすべきであると再認識しました。

## 緊縮財政、いかに事業計画を進めるべきか

### 最上川中部水道企業団議会報告

11月6日から8日にかけて、三重県鳥羽市水道課と大阪府交野市水道局に伺い、視察研修を行いました。内容は次のとおりです。

鳥羽市水道課と交野市水道局は、いずれも、給水人口の減少による料金収入の減少に直面するとともに、施設や管路の老朽化対策に取り組んでいます。



交野市で導入したトイレトラック

特に、交野市水道局では、給水人口の減少や大手工場の撤退の影響により、当年度純利益がマイナス2100万円と厳しい経営環境に直面しました。この状況の中、市民の理解を得て適正な料金改定（引き上げ）を実施し、老朽化した水道管の更新や耐震化を計画しています。

また、同市の災害対策として移動式トイレ（トイレトラック）や移動式シャワー（AI循環式シャワートラック）の購入を、クラウドファンディング（目標800万円）や国の補助金を活用して実現しており、これらの取り組みは、今後の事業計画や災害対策を策定する上で参考になる事例でした。

**臨時会** 12月24日に臨時会が開催され、令和6年度の補正予算（第2号）についての内容説明、質疑、討論、採決が行われ、人事院勧告による人件費増など、原案のとおり可決されました。

## 部活動は「地域移行」ではなく「地域展開」へ

### 村山地方町村議会議長会合同研修会報告

12月23日、村山地方町村議会議長会合同研修会が、大石田町「虹のプラザ」で開催されました。

#### ●講演「部活動地域移行について」 講師 仙台大学准教授 松井 陽子氏

はじめに、日本におけるスポーツのあゆみと課題、諸外国における「スポーツ文化」についての解説がありました。日本では、学校対抗による「部活動」の勝利至上主義や所属がないとスポーツがしにくいというのが課題です。一方、ドイツでは、スポーツクラブが地域コミュニティとして機能しており、競技レベルや志向性など自分に合ったクラブを選んで入り、子どもたちは学校が終わると、それぞれ自分の所属するクラブ活動に参加しているとのことでした。

部活動の地域移行も、「教師の負担軽減のため」というのは間違ったイメージであり、部活動運営を地域が担うのではなく、スポーツや文化活動など好きなことを地域でできるようにする「スポーツを通じた地域コミュニティの推進」であると説明がありました。そして、もっとも重要なことはやらされるのではなく、やりたいからやるという主体性であるとのことでした。

質疑応答では、当町の佐東議員が地方の指導者への支援について質問し、それに対し、総務省の「地域活性化企業人交流プログラム」の活用やコーチデベロッパー（コーチ育成者）による指導者育成などの紹介がありました。



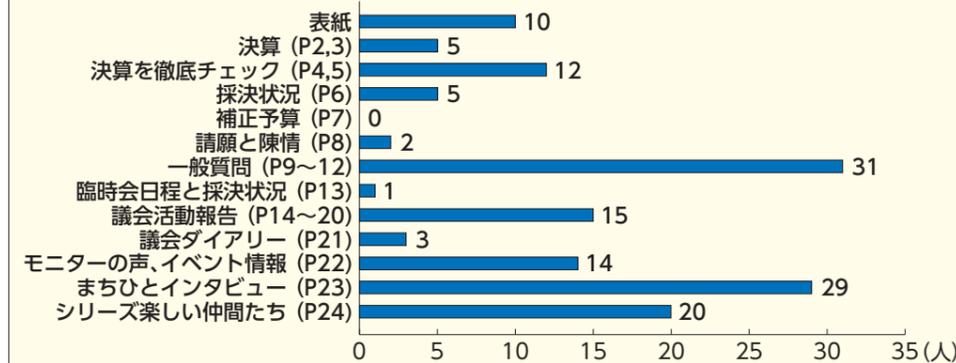
各地の取り組み事例も紹介されました

# 議会だよりアンケートを実施しました!!

## アンケート結果のご報告とお礼

11月1日～18日まで、議会だよりアンケートを実施しました。51名の方にご協力いただき、誠にありがとうございました。(うち男性22名、女性26名、回答しない3名)  
以下にアンケート結果の一部をまとめました。

31号や、もしくはこれまでの内容で、どのコーナーがいいと思いますか。  
(複数回答可、カッコ内は31号のページです)



詳しいアンケート結果は、中山町公式HPに掲載しています。



### 主なご要望とアイデア (自由記述等でお答えいただいた内容から、一部抜粋して掲載いたします。)

- 1 読みやすさ・デザイン改善**
  - 文字を大きくすることで、より読みやすく
  - 「読みたくなるような紙面づくり」を期待する
- 2 紙媒体とデジタル媒体の充実**
  - 多様な世代の読者に届くよう、紙媒体を維持しつつSNSやホームページの充実を
  - LINEやデジタル媒体での普及の推進
- 3 具体的な情報の充実**
  - 議員の活動や町政への思い、将来展望の詳細な紹介
  - 「議会でのやりとり」や「議案に対する意見」など、より具体的に詳細な内容を
- 4 子どもや若者向けの工夫**
  - 小学生でも理解できる文章やイラストの活用
  - 中高生への配布や若年層向けパンフレット作成
- 5 町民と町政のつながり**
  - 町行政に携わる職員の紹介や、町内の出来事の情報
  - 新規店舗や町の最新情報を詳しく掲載
- 6 改善後の進捗報告**
  - 提案への対応状況や進捗を、次回の議会だよりで報告

### いただいたご意見の活かし方について

毎号の「広報モニターの声」や今回のアンケートで寄せられたご意見をもとに、今号では人気の高かった「まち・ひとインタビュー」の過去出演者に集まっていただき、ご意見を伺った特集記事「まち・ひと・ぎかい合同座談会」を掲載しました。  
また、議会だよりの設置場所を順次拡大し、駅や「ゆ・ら・ら」、図書館の談話コーナーなどにも設置することで、大人から子どもまで幅広く情報を届けられるよう取り組んでおり、さらに、デジタル媒体の活用についても検討しています。  
その他のご意見については、一部を町総務広報課と共有しながら、引き続き検討を進めていきます。  
アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

# 議会活動報告

## 議会ダイアリー (議会4か月の動き)

※【 】内は参加者 ※議会全体の主な動きを抜粋して掲載しています。

- 10月 (前号掲載以降)**
  - 16日～18日 大型視察研修会【全議員】  
⇒関連記事 P 16～17
  - 20日 防災訓練【全議員】
  - 21日 第2回県及び市町村長・議長会議【議長】
  - 22日 (一社)山辺青年会議所 創立50周年記念式典【議長】
  - 23日 山形県土地家屋調査士会との災害時における被災者支援に関する協定締結式【議長】
  - 24日 議会運営委員会【委員、正副議長】  
全員協議会【全議員】  
町議会臨時会【全議員】⇒関連記事 P 6
  - 25日 県町村議会議員研修会 ⇒関連記事 P 20
  - 30日 福島県鏡石町議会視察受け入れ【正副議長、総務文教正副委員長】
  - 10月中 議会広報常任委員会 (2回)【委員】
- 11月**
  - 1日 朝日町制施行70周年記念式典【議長】
  - 3日 西川町制施行70周年記念式典【議長】  
芸文祭開幕式・舞台合同発表会【議長】
  - 4日 ドリーム・ベースボール【議長】
  - 5日～6日 山形広域環境事務組合議会議員視察研修【派遣議員】 ⇒関連記事 P 21
  - 6日 山辺町議会との正副議長・事務局長打合せ【正副議長】
  - 6日～8日 最上川中部水道企業団議会議員視察研修【派遣議員】 ⇒関連記事 P 21
  - 11日 柏倉家住宅保存・利活用特別委員会【委員】 ⇒関連記事 P 18  
議員懇談会【全議員】
  - 13日 第68回町村議会議長全国大会 (豪雪大会含む)【議長】
- 12月**
  - 4日～6日 町議会12月定例会【全議員】  
⇒関連記事 P 7～15
  - 4日 全員協議会【全議員】
  - 6日 議会活性化特別委員会【委員】  
⇒関連記事 P 18  
全員協議会  
治山・治水特別委員会【委員】  
⇒関連記事 P 19
  - 13日 中山町・山辺町両町議会議員協議会  
⇒関連記事 P 19
  - 19日 まち・ひと・ぎかい合同座談会 (議会広報常任委員会主催)【委員】  
⇒関連記事 P 2～5
  - 21日 県女子駅伝競走大会天童東村山チーム優勝記念祝賀会【議長】
  - 23日 村山議長会 議員合同研修会【全議員】  
⇒関連記事 P 20
  - 24日 最上川中部水道企業団議会臨時会【派遣議員】
  - 12月中 議会広報常任委員会 (2回)【委員】
- 1月 (一部)**
  - 6日 新春を祝う会
  - 12日 町消防出初式

### みんなの議会 傍聴しませんか

次回の定例会は  
**3月4日(火)～13日(木)**  
の予定です。  
お気軽にお越しください。  
お問い合わせ：中山町議会事務局 ☎023-662-4370

### 議会の録画配信をしています

パソコンやスマートフォンから  
ご覧いただけます。

中山町議会 録画配信 検索





「議会だより」を町民の皆さまに興味を持って読んでもらえる内容にするため、感想・意見をいただいている「広報モニター」の声ををご紹介します。

第31号から



- 補正予算、特に「キャッシュレス決済ポイント還元事業」は町民の間でも話題になっていたのが、経緯や問題点をくわしく知りたかったです。
- 議会活動の内容は、一般町民が議会活動を知る上で大変重要な項目と思っています。研修の感想・考察を太字で提示するなど議会としての方向性を示していただきたい。
- 議員の皆さまが多岐にわたる活動を行っていることがわかりました。中山町をより良くするために頑張ってください。
- まち・ひとインタビューについて、毎回、同様の質問内容なので、紹介者に合わせた質問内容に変更していただければ、新鮮味が増加すると思います。

今回もたくさんの声をお寄せいただきありがとうございました。ご指摘のあった件については検討させていただきます。ご意見、要望等ありましたら、どなたでもお気軽にご連絡ください。



連絡先

TEL : 023-662-4370 FAX : 023-662-2538  
Eメール : gikai@town.nakayama.yamagata.jp

2市2町 山形市・上市市・山辺町・中山町

イベント情報

①とき ②ところ ③内容 ④問い合わせ  
※イベントは予告なく変更になる場合があります。

まんだらの里 雪の芸術祭

- ①令和7年2月1日(土)
- ②作谷沢ふれあい自然館とその周辺
- ③夜空を彩る空飛ぶランタンの打ち上げ(要購入)、真冬の打ち上げ花火が楽しめます。
- ④作谷沢振興会 Tel.023-687-1918

※今回、諸般の事情により「連載シリーズ 楽しい仲間たち」は休載します。

重要文化財 旧柏倉家住宅 冬の特別公開

- ①令和7年2月7日(金)～9日(日)
- ②旧柏倉家住宅
- ③特別企画：清掃、燻蒸、庭園の除雪、仏具磨き等、住宅管理の様子の公開。また、お茶道具の展示など。
- ④中山町教育委員会教育課 Tel.023-662-2175

上市市民俗行事 加勢鳥

- ①令和7年2月11日(火・祝) 10:00～
- ②上山城～市内
- ③五穀豊穡と商売繁盛、火伏せを祈る上山の冬の風物詩です。
- ④上市市観光物産協会 Tel.023-672-0839

ひな人形展

- ①令和7年2月25日(火)～3月23日(日)
- ②山辺町ふるさと資料館
- ④ふるさと資料館 Tel.023-664-5033

2025柏倉九左衛門家ひなまつり

- ①令和7年3月20日(木・祝)・22日(土)・23日(日)
- ②旧柏倉家住宅ほか3会場
- ④2025柏倉九左衛門家ひなまつり実行委員会事務局 Tel.023-662-2175

お達磨の桜公園さくらまつり

- ①令和7年4月開花～
- ②中山町達磨寺地内(須川左岸)
- ④中山町観光協会 Tel.023-662-2114

霞城観桜会

- ①令和7年4月上旬～中旬
- ②霞城公園
- ④山形市観光戦略課 Tel.023-641-1212

馬見ヶ崎さくらライン ライトアップ

- ①令和7年4月上旬～中旬
- ②愛宕橋下流からあたご保育園付近、ジャバ正面付近
- ④山形市観光戦略課 Tel.023-641-1212

なかやま議会だより

No.32

発行日：令和7年2月1日  
発行：中山町議会

〒990-0492 山形県東村山郡中山町大字長崎120番地  
TEL:023-662-4370 FAX:023-662-2538  
E-mail:gikai@town.nakayama.yamagata.jp  
印刷：大場印刷株式会社

議会広報常任委員会  
委員長 村山 隆  
副委員長 佐渡 史隆  
委員 田宮 幸治  
委員 田宮 幸治  
委員 田宮 幸治  
委員 田宮 幸治

「なかやま議会だより」も8年の月日を重ね、第32号を迎えることができました。発行に際し、これまでご協力をいただいた町当局や、議員、そして何よりも町民の皆さまに心からの感謝を申し上げます。さて、読み手となる町民の皆さまに議会だよりは、どう映っているのでしょうか。アンケートを見る限り、まだまだ足りない部分が多いようです。委員会内でも議論を重ね、内容のある、より良い紙面づくりを目指してまいります。よろしくお願ひします。

(村山 隆)

編集後記